

令和6年第3回伊仙町議会定例会
令和5年度伊仙町一般会計他5特別会計歳入歳出
決算審査特別委員会委員長報告

令和5年度伊仙町一般会計他5特別会計歳入歳出決算審査特別委員会の委員長報告をいたします。

去る、令和6年9月3日に当特別委員会に付託されました令和5年度伊仙町一般会計他5特別会計歳入歳出決算は、9月5日から9月10日までの4日間、議長並びに議会選出監査委員を除く12名の委員で審査いたしました。(9月5日、9月6日、9月9日、9月10日)

まず、9月5日に行われた現地調査について、委員並びに議長を含む13名で、令和5年度決算に係る主な箇所について現地調査を行い、町長をはじめ担当課長並びに担当職員から詳細な説明を受けました。

調査場所は、事故繰越しにより令和6年3月に完成した喜念小学校新校舎、喜念浜駐車場トイレ、社会資本整備総合交付金を活用して令和5年度に改修された佐弁団地、海岸漂着物地域対策事業において清掃活動が行われていた花津川泊、伊仙町特産品加工工房までの

全5か所の調査を行いましたので主な事項についてご報告と要望をいたします。

・喜念小学校校舎新增改築工事については、令和4年度予算で計上されていましたが、実施設計の見直し等により事故繰越しとなり、令和6年3月によりやく完成いたしました。RC造2階建て、延べ床面積は1,081㎡で、総事業費が5億7,595万円となっており、立派な新校舎に喜念校区の黄色カラーが目を引く印象的な校舎となっております。令和6年度内において、グラウンドを含めた外構工事を実施し全体の完成を予定しているとの説明でありました。

本事業に関しては、事業繰越しの影響により2年連続で運動会が体育館で開催されるなど、完成をいち早く待ち望んでいた児童生徒や集落民の気持ちを考慮し、早急に事業完了されるよう要望します。また、喜念小学校のシンボルとして校庭中心部に立つアカギの木は事故防止等による理由から、今後伐採される予定であるとの説明でありましたが、ベンチ椅子や机として再利用し、今後も喜念校区民に親しんでもらえるよう検討すること。

次に、喜念浜駐車場トイレについては、施設老朽化に伴い屋根や扉の破損をはじめ、オムツ交換台のマークが表記されているにもかかわらず

ならず、交換台が無い状況でありましたので子ども用椅子の設置されるよう要望します。また、トイレ前の駐車禁止ガードも折損していることから、併せて早急な対応を要望します。喜念浜駐車場トイレのみならず、町内に設置された各公衆トイレについては、観光客はもちろん、全ての町民が快く利用できるよう普段から衛生管理に徹底されるよう申し入れます。

次に、海岸漂着物地域対策事業において清掃活動が行われていた花津川泊は、台風後ということもあり、多くの漂着物が回収されている状況でありました。令和5年度実績として、町内12カ所の海岸において79トンの廃棄物が回収され、一般廃棄物と産業廃棄物に分別され処理されているとの説明でありました。また、令和5年度においては、町民や幼稚園児・小学生・高校生によるボランティア清掃作業も行われ、環境保全に対する啓発活動も積極的に行っている状況であり、今後も継続して活動していただきたいと考えます。委員からの要望として、犬田布岬や小原海岸周辺についても漂着物の回収作業が行えないか検討していただきたいとの意見もありましたので申し添えます。

次に9月6日から10日までの3日間、本議事堂で行われた令和

5年度決算審査特別委員会の室内審査において、委員より指摘や要望のあった主な重点事項について報告いたします。

・まず歳入に関し、各種税、農地費分担金及び住宅使用料、水道使用料等において、多額の収入未済額が見受けられました。歳入全体の11.6%（前年比1.2%減）と限られた自主財源の本町にとって、町税収入等は町財政を支える根幹であり、厳しい財政状況の中で、税負担の公平性の観点からも一層の努力が求められます。担当課においては、納期内納税者の視点に立ち、法に沿った滞納処分（差押え）を行い、滞納繰越額の縮減に向け、取り組まれるよう要望します。また、公営住宅においては、各入居者から集められている共益費に関し、全ての入居者から公平に共益費が支払われるよう家賃に含めた徴収体制が確立できないか検討すること。

令和5年度のふるさと納税「きばらでえ伊仙応援寄附金」について、納税実績として約8,300万円であり、前年比1.1%の減少となっています。その一方で近隣自治体では多くのふるさと納税がなされており、令和5年度においても4億円を超える寄附金を獲得していることから、その成功例を参考に本町返礼品の課題や必要に応じた専任職員の配置などを検討し、より一層ふるさと納税の増額に努めるこ

と。

・次に歳出に関し、がんばる集落支援事業補助金について、令和5年度は1集落のみの事業実施であったことから、更なる事業の周知、また集落の実情に応じた柔軟な支援を要望します。

・次に、元気度アップ地域包括ケア推進事業については、新たな参加者も増加しており、事業推進の効果が表れているものだと感じられます。今後も引き続き高齢者の健康維持に向けた取組みの強化とポイント加算の見直しや商品券発行額の増額を要望します。

・次に、年々減少する出生数を鑑み子育て支援事業、子ども医療費助成、保育料無償化など、子育て世帯に対しより一層充実した施策を講じる必要性が感じられることから、財源バランスを考慮しメリハリを利かせた事業実施に努めるよう要望します。

・次に、母子衛生事業において乳幼児3・4カ月検診の際に絵本をプレゼントする「ブックスタート事業」が実施されておりますが、親子でのふれ合いや絆を深めるとても素晴らしい取組みであり、今後1歳6か月検診や3歳児検診においても絵本をプレゼントできるよう対象年齢の拡充を要望します。

・次に、令和5年度特定検診受診率については41%と、依然として

目標値の 60%に届かない状況であり、抜本的な改善策が求められます。また、問題点として保健指導を行う保健師も不足していることから専門職の確保が急務であり早急な対応を要望します。

・次に、鳥獣被害対策事業費においては、現在イノシシ侵入防止柵管理委託やイノシシ対策資材購入助成が実施されておりますが、個人のみならず集落単位での対策支援が検討できないか要望します。

・次に、特定地域振興生産基盤整備事業においては、圃場整備及び畑かん整備工事が主に進められておりますが、整備され 30 年以上経過した圃場に対して土壌改善を目的とした土層改良事業等が推進できないか検討されるよう要望します。

・次に、徳之島地域文化情報発信施設管理運営事業について、令和 7 年度には天城町にもドーム闘牛場が完成予定となっていることから、今後も闘牛大会のみならず、様々なイベントにも活用し情報発信の拠点として最大限活用されるよう要望します。また、島の伝統文化である闘牛を守り、引き継いでいくためにも闘牛飼育者への行政支援も検討されるよう併せて要望します。

・次に、学校建築費について、令和 5 年度において鹿浦小学校建替基本計画が策定され、令和 6 年度より実施設計が進められている状況

であります。耐力度調査の結果を踏まえ、スムーズな事業の執行及び早期建設を要望します。

・次に、学校給食センター運営費について、令和5年度の問題点として残食が増加している事が挙げられましたが、食育の観点からも最重要課題と捉え、早急に原因究明を行い、課題解決に向け取り組まれるよう要望します。

最後に、冒頭で申し上げました通り、我が町の財政は、その大半が地方交付税に依存しているのが現状であります。各事業における費用対効果の検証・見直しを行い、より良い財政計画の下、職員一人ひとりが常に危機意識を持ち健全な財政運営に努めるよう申し添えます。その他詳細な質疑や指摘事項につきましては皆様ご承知のとおりでありますので省略させていただきます。

以上、決算監査意見書指摘事項の改善を図る事と、特別委員会の要望意見改善状況につきましては、今後議会において検証いたしますので執行部におかれましては、改善対応を要望いたします。令和5年度一般会計歳入歳出決算他5特別会計決算について、本委員会では、それぞれ「認定」すべきものと決定いたしました。

以上で、報告を終わります。

令和6年9月12日 決算審査特別委員会委員長 杉山 肇